

「ぱれコレ」が読売福祉文化賞2012に選ばれました！

この度、7月29日(日)に開催した「ぱれコレ2012」が、「読売福祉文化賞2012」を受賞致しました。全国から集まった過去最多となる136件の応募の中から、1個人と5団体が受賞し、12月7日(金)には読売新聞東京本社にて授賞式が行なわれました。また、12月4日(火)の読売新聞全国版の朝刊に「読売福祉文化賞2012」の受賞報告と「ぱれコレ」についての記事が掲載されました。

●読売福祉文化賞とは

「読売福祉文化賞」は、新しい福祉の時代に相応しい活動をしている個人や団体を奨励することを目的に2003年から始まり、今年10回目を迎えます。障害者福祉を中心に福祉全般を対象とする「一般部門」と、「高齢者部門」で公募があり、各分野で工夫し特徴を活かしながら活躍している団体や個人が表彰されています。「福祉は文化である」という想いの下、豊かな福祉文化を創造し、発展させていく担い手となる「有望新人」の発掘もねらいとしています。

今年は136件もの応募があり、審査員のお話しでは、どの団体も甲乙つけ難く選考は難航したようです。そんな厳しい条件の中「ぱれコレ」が選ばれたことは大変名誉なことです。選考のポイントとして「障害者のためのイベントではなく、誰が見ても楽しめるステージを作り、肩肘張らずに障害がある無し関係なく思い切り楽しんでいる様子に共感した。さらに発展して欲しいという応援も込めて選ばせてもらった。次回はぜひ参加したい」という総評を頂きました。

「ぱれコレ」に関わったすべての人たちの思いが、この名誉ある「読売福祉文化賞」につながり、活動が評価されたことを大変嬉しく感じています。みんなで拵んだ大賞です。関わったすべての方に心より感謝いたします。

⑭

●贈呈式

読売福祉文化賞2012の贈呈式は、12月7日読売新聞東京本社で行なわれました。受賞した1個人と5団体に、事業団の長尾立子理事長からトロフィーと副賞(支援金100万円)が贈呈され「皆さんが独自の分野を開拓され、地域の中で特色を生かしながら活動されていることに敬意を表します。この活動の輪を地域に広げてください」と祝辞を頂きました。

受賞団体には、震災を乗り越えて「さをり織り」で障害者の就労を支援する宮城県石巻市の福祉作業所「NPO 法人輝くなかまチャレンジド」や、宮古島北部の離島池間島で高齢者宅に全国の修学旅行生を受け入れる民泊事業を行なう「NPO 法人いけま福祉支援センター」等バラエティにとんだ活動内容で、どの団体もその活動や今後の展望をとても活き活きと話され、大変刺激を受けました。

また、頂きました副賞100万円は、障害者のあらゆる可能性を信じて彼らの活躍の場を広げていくための活動に大切に使用させていただきます。

たまり場ぱれっと職員 左右木 歩

